

講師、講演概要紹介



山下 隆也氏

経済産業省 製造産業局
金属課長

▶講演概要

アルミニウムや銅などの金属素材は、私たちの身の回りにある多くの製品に使用されており、製造業における位置づけも非常に重要なものとなっています。講演では、金属産業の現状や製造業におけるポジションを解説し、金属産業の抱える課題と将来像について紹介します。

▶略 歴

1990年通商産業省（現・経済産業省）入省。大臣官房情報システム厚生課厚生企画室長、製造産業局車両課長、花王株式会社（官民交流法派遣）、消費者庁取引対策課長を経て、2014年6月より現職。



伊藤 雅彦氏

株式会社フジクラ
取締役社長

▶講演概要

非鉄金属材料を主原料とする電線・ケーブル業界の視点から、金属複合素材開発の重要性や将来性について、高温超電導線や複合導体ケーブルなどの製品開発の事例を交えて紹介をします。また、地球環境改善を目指した取り組みである「電線・ケーブルの最適導体サイズ設計の普及」について紹介します。

▶略 歴

1982年藤倉電線株式会社（現フジクラ）入社後、電力ケーブルの開発、製造部門長を歴任。2013年執行役員超電導事業推進室長、2014年常務執行役員エネルギー・情報通信カンパニー副統括、2015年取締役常務執行役員を経て2016年4月代表取締役、取締役社長に就任。一般社団法人日本電線工業会会長。



藤居 俊之氏

東京工業大学
物質理工学院 教授

▶講演概要

従来の構造材料はもちろんのこと、電装品の配線材料においても耐疲労特性の向上が求められています。金属や合金を繰り返し変形すると、き裂が発生する前から材料内部には特徴的な転位組織が形成されます。本講演では、最新の電子顕微鏡法によって観察した立方晶金属の疲労転位組織を紹介し、耐疲労特性向上の指針をナノの視点で考察します。

▶略 歴

1992年東京工業大学大学院博士後期課程修了。東京工業大学助手、助教授、准教授を経て2013年から教授。専門は材料の組織と力学特性。文部省在外研究員、内閣府上席政策調査員等を歴任。日本金属学会奨励賞、日本金属学会論文賞、日本鉄鋼協会論文賞、日本伸銅協会功労賞他受賞。

見学会場概要（株）フジクラ 佐倉事業所

〈見学内容〉

- 世界に先駆けるイットリウム系超電導線製造プラントや非鉄金属素材などの研究開発設備を見学します。
- 光ファイバの最先端技術と製造ラインを見学します。
- 見学後、製造・研究開発部門の若手技術・研究者との交流会を予定しています。これにより、世界の先端産業を根幹で支える日本の素材産業への理解が深まり、皆さんの進路選択に大いに役立つものと思います。

